

ブラックホールの謎に迫る！講演会を開催

3月13日(土)に天文セミナー「最新天文学入門-ブラックホールの謎に迫る-」を開催しました。講師は国立天文台の縣秀彦先生で、体験館では6年ぶりの講演でした。この6年の間にも天文学は発展していて、今回のテーマ「ブラックホール」も2019年に初めて撮影に成功しています。そんな最先端の内容も含めて、ブラックホールの発見の歴史や観測方法などをわかりやすくお話いただきました。

講演後半には、縣先生へ寄せられたたくさんの質問に丁寧に答えていただきました。小学生の参加が3割近くを占めていて「ブラックホールは地球を吸い込まないの?」「ワープは将来できますか?」など、興味津々の質問も出ました。あっという間の90分でした。



作りごたえ十分！！ ダンシングザウルス工作

3月25日(土)にワークショップ「ダンシングザウルスを作ろう!!!」を開催しました。工作好き、恐竜好きな小学5・6年生12名が2時間かけて2足恐竜の工作に挑戦してくれました。



最初は、ぎこちなくドライバーでネジを回していた子も最後はコツをつかんだ様子でした。細かい部品が多く難しい工作でしたが、最後まで自分の力で作り上げることができました。

参加した子どもたちの真剣なまなざしを見て、今後も子どもたちが好きな恐竜の工作を開発していきたいと思いました。

宇宙飛行士訓練体験をしました！

3月21日(日)に「宇宙飛行士ワークショップ」が開催されました。名古屋大学宇宙開発チームNAFTのお兄さんとお姉さんがやさしく教えてくれました。

参加した小学生は初めて会った友達と協力し合い、5つのミッションに楽しく挑戦していました。「宇宙飛行士がやっている訓練が分かってよかった」「宇宙の事が楽しく思えた」など、うれしい感想が寄せられました。大学生のお兄さんとお姉さんとの交流は参加した小学生にとってとても貴重な体験となったようです。



★天文ピックス

5月26日に皆既月食が起こります

月食は、太陽・地球・月が一直線にならび、月が地球の影に入って欠けて見える現象です。今回は、影の中に全部入る皆既月食となります。豊田では18:45に欠けはじめるのですが、月の出が18:47なので欠けた状態で昇ってきます。皆既月食の始まりは20:09です。それから20:28まで皆既の状態が19分間続きます。

地球の影の中に入ると月は少しずつ欠けていきますが、完全に影の中に入ってしまうと暗くなって見えなくなってしまうのではなく、全体が赤い月となります。見えなくなる理由は、地球の大気で屈折した太陽の光が、少しだけ月を照らすためです。赤く見えるのは、大気の中を通るうちに波長の短い青い光は散乱し、波長の長い赤い光が通過して残るからです。

月を見るために特別な道具はいりません。肉眼で十分楽しむことができます。東から南の低い空がよく見える場所で、欠けていく様子や皆既の赤い月を観察してみてください。

2021年5月26日(水)

皆既月食

月の出18:47



東

南東

南